

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平9-506350

(43)公表日 平成9年(1997)6月24日

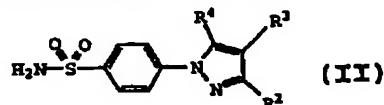
(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	
C 0 7 D 231/12		7019-4C	C 0 7 D 231/12	C
A 6 1 K 31/415	AAH		A 6 1 K 31/415	AAH
	ABE	9454-4C		ABE
	ABG			ABG
31/44		9454-4C	31/44	
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全336頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号	特願平7-515611	(71)出願人	ジー. ディー. サール アンド カンパニ ー
(86) (22)出願日	平成6年(1994)11月14日		アメリカ合衆国60680-5110 イリノイ州, シカゴ, (番地なし) ビー. オー. ボック ス 5110 コーポレート パテント デバ ーメント
(85)翻訳文提出日	平成8年(1996)5月29日	(72)発明者	タリー, ジョン ジェイ.
(86)国際出願番号	PCT/US94/12720		アメリカ合衆国 63144 ミズーリ州ブレ ントウッド, バイン アベニュー 8772
(87)国際公開番号	WO95/15316	(72)発明者	ベンニング, トーマス ディー.
(87)国際公開日	平成7年(1995)6月8日		アメリカ合衆国 60126 イリノイ州エル ムハースト, ラーチ 374
(31)優先権主張番号	08/160,594	(74)代理人	弁理士 浅村 皓 (外3名)
(32)優先日	1993年11月30日		最終頁に続く
(33)優先権主張国	米国 (US)		
(31)優先権主張番号	08/223,629		
(32)優先日	1994年4月6日		
(33)優先権主張国	米国 (US)		

(54)【発明の名称】 炎症の治療のための置換ピラゾリルベンゼンスルホンアミド

(57)【要約】

炎症および炎症関連疾患の治療のための、あるクラスのピラゾールベンゼンスルホンアミド化合物が記載される。特に興味のある化合物は、式II:



[式中、R¹は、ヒドリド、アルキル、ハロアルキル、アルコキシカルボニル、シアノ、シアノアルキル、カルボキシル、アミノカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキルアミノカルボニル、アリールアミノカルボニル、カルボキシアルキルアミノカルボニル、カルボキシアルキル、アラルコキシカルボニルアルキルアミノカルボニル、アミノカルボニルアルキル、アルコキシカルボニルシアノアルケニルおよびヒドロキシアルキルより選択され；R²は、ヒドリド、アルキル、シアノ、ヒドロキシアルキル、シクロアルキル、アルキルスルホニルおよびハロより選択され；そしてR³は、アラルケニル、アリール、シクロアルキル、シクロアルケニルおよび複素環より選択され、ここでR⁴は、置換可能な位置でハロ、アルキルチオ、アルキルスルホニル、シアノ、ニトロ、ハロアルキル、アルキル、ヒドロキシル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、カルボキシル、シクロアルキル、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルコキシカルボニル、アミノカルボニル、アルコキシ、ハロアルコキシ、スルファミル、複素環およびアミノより選択される1つまたはそれ以上の基により随時置換されている(但し、R²およびR³は、両方がヒドリドではなく；さらに但し、R²がヒドリドであり、かつR⁴がフェニルである時、R²は、カルボキシルまたはメチルではなく；さらに但し、R²がメチルである時、R⁴は、トリアゾリルではなく；さらに但し、R²がカルボキシル、アミノカルボニルまたはエトキシカルボニルである時、R⁴は、アラルケニルではなく；さらに但し、R²がメチルであり、かつR³がカルボキシルである時、R⁴は、フェニルではなく；そしてさらに但し、R²がトリフルオロメチルである時、R⁴は、非置換チエニルではない)]により定義されるか、またはその薬理的に許容される塩である。

ルおよび複素環より選択され、ここでR⁴は、置換可能な位置でハロ、アルキルチオ、アルキルスルホニル、シアノ、ニトロ、ハロアルキル、アルキル、ヒドロキシル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、カルボキシル、シクロアルキル、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルコキシカルボニル、アミノカルボニル、アルコキシ、ハロアルコキシ、スルファミル、複素環およびアミノより選択される1つまたはそれ以上の基により随時置換されている(但し、R²およびR³は、両方がヒドリドではなく；さらに但し、R²がヒドリドであり、かつR⁴がフェニルである時、R²は、カルボキシルまたはメチルではなく；さらに但し、R²がメチルである時、R⁴は、トリアゾリルではなく；さらに但し、R²がカルボキシル、アミノカルボニルまたはエトキシカルボニルである時、R⁴は、アラルケニルではなく；さらに但し、R²がメチルであり、かつR³がカルボキシルである時、R⁴は、フェニルではなく；そしてさらに但し、R²がトリフルオロメチルである時、R⁴は、非置換チエニルではない)]により定義されるか、またはその薬理的に許容される塩である。

THIS PAGE BLANK (USPTO)